

前任職を偲ぶ会を勤修

ただくのは、なんと3年ぶりです。

七月三日、秋季永代経、平和の集いにあわせて「前任職を偲ぶ会」をお勤めしました。コロナが続いており、なかなかご門徒や区民の皆様とともに前任職を偲ぶ機会がありませんでした。ようやくお勤めすることができてホッとしています。門徒一同やお講衆からお花やお供えをいただき、また有縁の方々からお供えをいただきました。厚くお礼申し上げます。

法要では、総代の田中二郎さんから前任職との思い出を披露してくださいました(下段に要約を掲載)。

また、彦根の漢見覚恵師のご法話を聴聞しました。布教使さんに来てい



彦根市純正寺の漢見覚恵師のご法話

コロナ感染症の流行が続いています。ロシア軍のウクライナ侵攻は終わりが見え、日本でも前総理大臣が凶弾に倒れる事件が起こりました。世の中は平和に向かうどころか、分断に向かっていくかのようです。これまでの私たちの経験や知識の想定外のことから次へ次へと起こっています。紛争や戦争は遠い外国のことではなく、ほんの70数年前まで日本が当事者でした。私たちは身近なところから思考や行動を変えていかなければならぬのかもしれない。

八月 葉月	
四日(木)	教区鑽仰会理事(任職)
九日(火)	教区聞法の集い(別院)
十五日(月)	お盆
二〇日(土)	お講
	地藏盆(中止)

前任職の思い出
総代 田中 二郎
前任職とはいろいろな思い出がたくさんあります。一〇年前に覚浄寺の有志の方々とは北京に旅行した時の話です。北京市内の観光と天安門や中国雑技団のショーを見て、中国料理を堪能し、ホテルでは前任職と同じ部屋でした。しばらくしてご縁さんが「三郎さん先に入ってきて」と言うので先にお風呂に入らせてもらいました。私がお風呂から出てくると、ベッドの上にカバンから全て出して慌てた顔で「インシュリンがない」と。二人で大探しすると、ベッドの下に小さなポシエットが落ちていたのを私が発見。「それやそれや、それがないと大変なことになる」と言っで一安心。それから風呂に入る前に背中中の湿布を取ってくれと言うことで7、8枚も取り、ようやくお風呂に入られました。その後は、ベッドの上で横になりながら、いろいろな昔話を聞かせてもらいました。ご縁さんの話だと、昔の寺の役員さんはまあ個性の強い方々だそうで、「門徒の皆さんや区民の方々に大変お世話になり今のお寺が再建された」ということでした。朝になり、「今日は万里の長城やパンダを見に行くのでたくさん歩かなあかん。湿布を貼ってくれへんか」というので、例の湿布を、肩、背中、腰、ふくらはぎなど身体中に貼りました。背中中は湿布で真っ白。部屋の中は湿布の匂いが充満していました。出発の間になったのもう一度部屋の中を確認すると、ご縁さんの帽子、大事な杖が残されていて、ふと風呂場を覗くと、ご縁さんの脱いだ服が山のようにあるのを見つけて大慌て。急いでカバンに詰め、さらにロビーに向かう廊下でふとご縁さんの足元を見るとホテルのスリッパ。ロビーに集合するとすでに15分くらい経過していました。皆さんお待ちたせしました。朝からやっとなで戦争が終わりしました。前任職と夜遅くまで話しをできたことは良き思い出です。私の心の宝物です。大変お世話になりました。



清浄光



お盆恒例

清浄光まちがい探し！

お化けたちが盆おどりを楽しんでいます。
あれれー上の絵と下の絵で間違いが7つあるよ。見つけてね！

くすくすクイズ QUIZ 先月号の答え

- 1番 (ウ) 松若丸
- 2番 (イ) 範宴
- 3番 (オ) 綽空
- 4番 (エ) 善信
- 5番 (ア) 親鸞

